



山村国際高等学校第六十五回紫藤祭が、九月十日(土)・十一日(日)の二日間にわたって開催された。十日が午後のみ、十一日は終日の一般公開となり、天候も心配される中での実施となったが、雨雲を吹き飛ばすような熱気のある発表、工夫を凝らした模擬店など、様々な催しが行われた。

十日の午前中には、生徒のみによるオープニングが催され、最初は書道部によるパフォーマンス書道が行われた。今年のテーマである「奏でよう」と葉の「ハーモニ」の文字を部員たちがダイナミックに書き上げた。その後は、吹奏楽部の演奏、有志団体による発表が行われた。また、今年度からステージ発表に登場したマジック研究部によるマジックの披露、英語部による英語劇『赤ずきん』がオープニングの締めを務めるとともに、文化祭の幕



開けに華を添えた。

今年の文化祭には、昨年同様、福島県立双葉高校の生徒が来校し、後援会の物産販売を手伝ったり、ステージ発表を見学したりと、一緒に楽しむことができた。今年度末をもって休校となってしまう双葉高校。本校生徒会として、最後までできる限りの支援と交流を続けていきたいと思う。

文化祭本祭について、体育館ステージでは、軽音楽部や吹奏楽部の演奏・パトントワリング部やダンス部による演技・よさこい部による演舞・英語部の生徒による英語劇が行われた。どの団体も、個性的な発表で独自の世界観を生み出し、会場全体に感動を与えていた。校舎内の展示では、写真部や書道部・イラスト部・華道部などの文化部が、日頃の部活動の成果を思う存分発揮し、芸術的な作品を多く展示していた。各クラスの模擬店では、工夫を凝らして教室を飾り、とても華やかに教室を彩っていた。

発行所  
山村国際高等学校  
坂戸市千代田1-2-23  
☎ 049-281-0221

印刷所  
有限会社 須賀印刷

http://www.yamura  
kokusai.ed.jp

- 各賞の受賞は次の通り
- 紫藤賞 ダンス部
- ステージ賞 パトント部
- 企画賞 修学旅行実行委員
- 装飾賞 三年三組
- グッドマナー賞 三年六組
- ポスター 関谷舞衣 (三年一組)

校長 山田良秋

今回は、新聞等の活字にもなった本年度の本校生徒の皆さんの活躍を記してみます。

まず、陸上部の神藤さんが、春の学校総合で西部地区三位県では八位になりました。生物部の高野さんは、マスカハニーの研究でサイエンスキャスルリバナを受賞。八月にダンス部が日本高校ダンス選手権で審査員特別賞を受賞。九月には、本校生徒会と双葉高校との文化祭での交流を「絆は消えず」という見出しで新聞各紙が掲載してくれました。更に同月、パトントワリング部が県大会で最高位の県知事賞を見事獲得しました。

このように、本年度も多くの生徒が活躍し、本校の名前を情報発信してくれています。努力した生徒達は勿論ですが、指導に当たった先生方、日常生活を支えた保護者の方から感謝を申し上げます。

そして、更に大切なことは、マスクミ等の表面に未だ出なくても、同様に部活や勉強に努力している生徒諸君が本校には沢山いることでしょう。

今後も引き続き努力を継続すれば、必ず「良い結果」となって現れます。本校で、三番目に長く生きてきた私が断言します。

江戸時代の国学者であった本居宣長と、『雨月物語』の作者である説本作者・上田秋成との間で天明年間に行われた文学論争、日の神論争は有名である。その内容を簡潔に言うとう、『古事記』に記された天照大神がその光を照らす範囲はどこまでか、というもので、宣長はこの日本だけとし、秋成は日本だけでなく全世界であるという主張だ。

◆国学者の立場から、大和魂を唯一無二、日本を最上の国と考え、一方中国の作品から着想を得て作品を著した秋成は、それぞれの国に各々の魂があり、それがその国の臭み(欠点でもあり特徴である)と述べたのだ。国学の権威に対して市井の読本作者が投げかけたこの論争は結局平行線をたどったが、現代で言えば評論家である宣長の主張が感情的に思われ、作家である秋成の論が論理的・客観的であるのは興味深い。晩年の秋成は随筆『肝大小心録』で、宣長を「いなか人のふところおやじ(世間知らずの田舎者)」と評しているが、「この人死んでは、いよいよ火が消えてしまふた」と嘆いている。好敵手の不在は寂しかったものと思われる。

# 双葉高校 交流会

## 最後の共同文化祭開催

平成二六年に双葉高校との共同文化祭が始まり、今年で三年目。互いに世代交代をしながらも、年を追う毎に両校生徒の絆は深まりつつあったが、残念ながら双葉高校は今年度をもって休校が決定している。両校による共同文化祭もこれが最後となった。

最後の共同文化祭ということもあり、今年には双葉高校から全校生徒一名の内一〇名、校長をはじめ教員八名が来校した。双葉高校の生徒たちは、本校生徒会本部役員と協力しながら双葉高校の生徒支援および熊本城修復のための物産販売や、私学助成増額を求める署名活動（ともに本校後援会の協力あり）、校内巡回などを行いながら、紫藤祭を満喫していた。

震災以降、いわき明星大学内のサテライト校で教育活動を進めてきた双葉高校は、生徒数の著しい減少のなかで満足に学校行事も行えない環境にあった。それを知った本校生徒会本部役員が提案し実施してきた共同文化祭は、長期にわたる双葉高校の生徒支援の大切な一環であった。双葉高校校長より頂いた「継続的な支援はたいへ

んありがたかった」という言葉は、本校生徒会本部役員に人の役に立つことにより得られる「喜び」を実感させたようだ。

九月一〇日の夕刻、双葉高校の生徒はバスで帰途についたが、ひとりひとり、たいへん満足な表情をしていたのが、印象的であった。今回の物産販売で集まった収益一万六五九一円、募金二万六七六七円、参加団体からの寄付金三万八八六一円、これに昨年度分の残金から七七八一円を合わせた九万円は、一月二二日に直接、双葉高校の生徒に手渡すことになる（記事一〇月二二日現在）。



# 秋のレクリエーション

## 東京デイズニード&ムー

十月五日（水）の秋のレクリエーションで、三年生は東京デイズニード、一年生は東京デイズニードに行きました。台風が近づいていたこともあって、無事に実施できるか不安がありました。当日はあいにくの雨模様。とはならず、お昼までは天気ももって、無事に過ごすことが出来ました。十時集合、十五時解散の予定ではありましたが、ハロウィーンが始まっている夢の国で、生徒達が楽しく過ごしている様子がありました。学年として最後の行事ではありましたが、生徒達それぞれの良い思い出になったことを願っております。



# 修学旅行 in ニュージーランド



## 日本食は美味しい! ~ 修学旅行報告 ~

2学年にとって最大の学校行事である6泊7日に及ぶニュージーランドへの修学旅行は、今年で4回目となった(A団は10月2日~8日まで、B団は10月3日~9日)。今年はA団・B団ともに成田空港からのフライト時間が遅れるアクシデントに見舞われ、最初の観光予定地であったマリワイビーチをサベッジ・メモリアルガーデンに変更せざるをえなくなった。しかし、その後の予定地はなんとか観光を済ませ、自主研修・ファームステイは無事に終えることができた。

晴れわたる空とそこに浮かぶ真っ白な雲、丘陵一面に広がるグリーングラス、のんびりと牧草を食べる牛や羊…。日本より狭いの、何と広いニュージーランド。時間の流れを忘れてしまいそうな綺麗な景色だ。ニュージーランドの片田舎を象徴する風景のなかで暮らす人々とのファーム体験で、ニュージーランド人の親切な心に触れた生徒は数多いことであろう。ロトルワでは、展望台からロトルワ湖と町を一望しながら、恋しい日本のカレーライスを食べた生徒も多かった。その日の夕食は、修学旅行中に誕生日を迎えた生徒のためのささやかな誕生日会とハンギディナー。該当生徒にとって一生の思い出が心に刻まれた瞬間であり、全生徒がマオリの文化に直接触れた瞬間でもあった。買い物にも不安を持っていた生徒は、バス移動の途中、何度かスーパーに立ち寄ることで順応し、自主研修の時には上手に小銭を使っている生徒もいた。



しかし、多くの生徒が感じたのは、日本食の美味しさのようだ。海外に出て初めて日本食の美味しさを知ったようだ。外の世界から自分の国の良さを一つでも知ることができれば、修学旅行はより一層大きな意味を持つことになる。その意味で、今回の修学旅行は成功に終わったと言える。

### 修学旅行 行程表

日時	月/日(曜)	行 程					宿 泊	
1	10/02(日) 10/03(月)	A団 組 若葉駅付近(12:00)	貸切バス	酒々井 SA 休憩	NZ=ニュージーランド航空	朝× 昼× 夕機	[機中泊]	
2	10/03(月) 10/04(火)	→→→→→ オークランド空港(9:15)	ムリワイビーチ(10:30)	(昼食) 市内レストラン(11:45~13:30)	休憩1回	ミーティングポイント... 各家庭へ(15:30~16:45頃)	朝機 昼○ 夕○	[ケンブリッジ周辺]
3	10/04(火) 10/05(水)	~ケンブリッジを中心とした地区にてファームステイ~ *酪農体験、フィッシング、ファミリーと買い物、馬やペットの世話などなど					朝○ 昼○ 夕○	ファームステイ
4	10/05(水) 10/06(木)	*ショートスタート11:00 ファーム アグロドーム(羊ショー)(9:00)	スカイラインで食事(10:20~12:15)	ロトルア湖... ガバメントガーデン(12:30~14:00)	スーパーマーケット(14:40~15:10)	*ハンギディナー ホテル(15:30~16:15)	朝○ 昼○ 夕○	[ロトルア] ホリディン ロトルア
5	10/06(木) 10/07(金)	ホテル 休憩1回(9:00)	オークランド市内レストラン(12:30~13:45)	オークランド博物館(14:00~15:15)	スーパーマーケット(15:30~16:00)	(夕食) ホテル... レストラン(16:30)(17:20)(17:30)	朝○ 昼○ 夕○	[オークランド] スタンフォード
6	10/07(金) 10/08(土)	ホテル(9:00)	港~港 デボンポート(マウントヒクトリア)港(9:30)	クラス写真撮影後自主研修(11:00)	*ホテル内にて昼食	ホテル(16:00)	朝○ 昼× 夕○	[オークランド] ホリディン オークランド エアポート
7	10/08(土) 10/09(日)	貸切バス ホテル(7:00)	オークランド空港 →→→→→【NZ99便】(9:40)	→→→→→ 成田空港第一ターミナル(16:50)	(希望者のみ) 川越駅・坂戸駅(18:15頃)	学校(1台)(20:00頃)	朝○ 昼機 夕機	

# 活躍している部活動 ブラスバンド部

## 居合道部

八月一日(月)に、坂戸市から依頼を受けて、ドイツのスポーツ少年団に所属する十六、二十二歳の男女十一名を招待して、日独交流会が行われました。

交流会では居合道とは何かをはじめ、刀の握り方や振り方など、生徒達が一生懸命に英語を使って説明しました。言葉が伝わらないときには、ジェスチャーで伝える様子もありました。また、演武を披露したときには、物音もせずしんとした中で響く刀音に、感嘆の声をあげる留学生もいたことが印象的でした。説明の後は、実際に模擬刀を手にしてもらい、生徒達と一緒に素振りを行いました。初めのうちは、柄を握るのに苦戦している様子がありましたが、次第にコツをつかんで刃音を出そうと力強く振る様子がありました。短い時間ではありましたが、最後に全体写真を撮り、無事に交流会を



終わることができました。

また、十月十五日にテレビ埼玉で居合道部が紹介されました。埼玉県では、居合道部は二校しかない部活動です。本校の居合道部は、設立は昭和六年六十一年で、今年で創部三〇年目となりました。平成二十八年度は、一年生六名・二年生一名・三年生五名で、大会での入賞や審査での昇段を目指して、稽古に励んでいるところです。居合道に興味がある方は、是非とも武道場にお越しください。

## ダンス部

私達ダンス部は、今年の夏、たくさんの大会に出場し、日本一を目指して日々練習に励んで来ました。

今年の夏の作品のテーマは、『魔法』(アラジン)です。作品を作るために、劇団四季アラジンを鑑賞してきました。部員からは、イメージがわいて踊りに入り込みやすくなると意見ががりました。

六月二十六日に、帝京大学八王子キャンパスで全国高等学校ダンス部選手権大会の予選が行われました。この大会は、全国の高校を対象とした大会で『東京』『名古屋』『大阪』『福岡』で審査会があり、すべての審査会場から三十六校のみが決勝大会に進むことができます。その結果、本校ダンス部は、予選を通過することができ、八月二日に、代々木第二体育館で行われた全国大会に出場することができました。ステージがとても広く生徒達はとても緊張していました。大会の結果ですが読売中高生新聞賞を受賞しました。副賞として、東京ドームで行われた巨人戦の試合の前にアラジンを踊る権利をいただきました。約五万人の前で踊るのは、なかなかできない経験だと思います。貴重な体験ができたと思います。

八月三日には、神奈川県民ホールで、日本高校ダンス部選手権関

東甲信越大会が行われました。この大会は、ダンスの甲子園と言われる大きな大会で、全国大会に出場するのが難しい大会です。結果、関東甲信越の大会で優勝することができ、八月十七日にパシフィック横浜で全国大会に出場することができました。全国大会となるとダンスの強豪校ばかりで生徒達もいつもより緊張していました。結果、審査員特別賞を受賞することができました。日本一を目標として日々練習に励んできましたが残念ながら優勝はできませんでした。しかし、今年の夏はいろいろな成長した年になったと思います。今後も一生懸命頑張っていくので応援よろしくお願いします。



# 入試広報部より

## オープンキャンパス

●本年度のオープンキャンパスは、中学生全学年を対象に、七月九日（土）に開催した。



今年度から案内チラシを近隣の中学校の生徒に配布したので参加者も増え、二百五十名近い中学生と保護者に参加してもらうことができた。

ミニ説明会、入試対策講座などは満席になるほどの盛況ぶりであった。また、各部活、団体による講座や体験なども多くの方に参加していただき山村国際高校を知ってもらい良い時間を過ごしてもらうことができた。

## 体験部活・体験学習

●八月十八日（木）、八月二十日（金）に体験部活・体験学習が行われた。10の講座が開講され、昨年よりも多くの申し込みがあり活気ある二日間となった。



英会話教室では、ハーデイ先生、マッカーシー先生が参加する中学生のレベルに合わせた創意工夫のある充実した三十分を過ごすことができた。参加した中学生からも満足感のある笑顔を見ることが



できた。体験部活も各部門とも多くの中学生が参加して活気ある姿を見ることができた。中でも、ダンス部は四十名近い参加者が来てくれ体育館で所狭しと、本校の生徒と共に踊っていた。

来年度も多くの中学生に参加してもらい、少しでも本校のことに興味を持ってもらえるように企画を進めていきたいと感じた二日間であった。



# カウンセリングルームより

面接練習をしていて、気づいたことがあります。どうしてその仕事をしてみたいと思ったのですか？という質問をしたときに

「初めて入院して、不安な気持ち聞いてくれた看護師さんのようになりたいと思いました。」とか、

「怪我をしたときに理学療法士の方にお世話になって、この職業につきたいと思いました。」というように、決してラッキーとはいえない出来事がきっかけとなって人生の選択をしたという生徒が多かったということです。

スタンフォード大学のジョン・D・クランボルツ教授が提案したキャリア論で『Planned Happenstance Theory』（ブランド・ハップンスタンス・セオリー）という理論があります。この理論は、個人のキャリアの八割は予想しない偶発的なことよって決定

され、その偶然を計画的に設計し、自分のキャリアの良いものにしていくという考え方です。

クランボルツ教授は偶然を味方につけ幸福な人生を築き上げていくためには次の五つが鍵になるといっています。

①「好奇心」たえず新しい学習の機会を模索し続けること

②「持続性」失敗に屈せず、努力し続けること

③「楽観性」新しい機会は必ず実現する、可能になるとポジティブに考えること

④「柔軟性」こだわりを捨て、信念、概念、態度、行動を変えること

⑤「冒険心」結果が不確実でも、リスクを取って行動を起こすこと

「チャンスの神様は前髪しかない」という言葉がありますが、「人生にとってこの出来事は偶然ではないかもしれない。」というこ

## 『Planned Happenstance Theory』五つの行動指針

- ①「好奇心」… たえず新しい学習の機会を模索し続けること。
- ②「持続性」… 失敗に屈せず、努力し続けること。
- ③「楽観性」… 新しい機会は必ず実現する、可能になるとポジティブに考えること。
- ④「柔軟性」… こだわりを捨て、信念、概念、態度、行動を変えること。
- ⑤「冒険心」… 結果が不確実でも、リスクを取って行動を起こすこと。

とに自分自身が気づけるかどうかなのかもしれませんね。

たまたまおこったその出来事をきっかけに、行動を起こすことから人生が変化していくことって意外と多いのかもしれない。何歳になってもどんな人にもPlanned Happenstanceはあるのだと思います。あなたはどんなPlanned Happenstanceに気づいているのでしょうか？

# 事務室だより

事務長 師岡 昇

皆様には、日ごろ事務事業に対しまして多大なご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

本年の事務室事業も、皆様のご理解、ご協力をいただき順調に推進されており心からお礼申し上げます。

これからは、我々職員が何をすべき時代なのかをよく考え、その一歩として、職場や保護者・地域間とのコミュニケーションを活発に行い、情報の共有化を図ることが、皆様の元気や職場の活気ある原動力につながると思います。

ひとり一人がコミュニケーションを取りながら、やりがいのある職場環境にしていきたいと思えます。

現在事務室では、皆様に今まで提出頂きました「授業料軽減」「就学支援金」「奨学のための給付金」について、国及び県に提出し、結

果を待っている状態です。

保護者の皆様は、この3点の給付金申請について、「きちんと提出したかを確認したい」「出し忘れてしまい、今から提出したい」もしくは「家計の急変があった」などについてご連絡を頂ければ早急に対応致しますのでお気軽に事務室までお電話ください。

順調に処理が完了し、県から補助金が出ましたら、初回申請の方へは、来年の2月位に現在届け出のある授業料振替口座に振込処理をさせて頂く予定です。届け出座の変更等ありましたら、早めにお知らせ下さい。

本校での就学支援金及び父母負担軽減事業申請は生徒が学校で安心して勉学・部活動に励めるよう、この事業に私学の中でも熱心に取り組んでいる学校です。遠慮せず相談を積極的にお願いいたします。